



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,905	△4.4	637	△14.6	669	△14.2	286	△38.1
29年3月期第3四半期	11,413	△2.2	746	0.6	780	20.4	462	19.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 774百万円 (26.5%) 29年3月期第3四半期 612百万円 (69.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	85.86	—
29年3月期第3四半期	135.82	—

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,149	8,043	48.1
29年3月期	14,870	7,473	45.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,282百万円 29年3月期 6,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成30年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	△7.1	1,030	△10.3	1,030	△11.3	500	△30.2	147.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,614,252株	29年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	278,089株	29年3月期	277,115株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,336,809株	29年3月期3Q	3,404,872株

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第97回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 14円72銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善に加え、設備投資が堅調に推移しているものの、原油高など原材料コスト増を最終価格に転嫁できておらず、景気は緩やかに回復しつつも、デフレ脱却には未だ道半ばの状態にあります。

染色加工業界におきましては、国内の受注環境は依然として厳しく、少子高齢化による人口減少や消費者の節約志向を背景に、特にファッション衣料品販売の停滞が続いております。一方、当社の進出先であります東南アジア地域において、とりわけインドネシアでは、衣料分野や生活関連分野などで需要の拡大傾向が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、国内繊維事業では採算重視の販売戦略と安定した売上が見込まれる非衣料分野の受注強化を進め、海外では既存客先との取組強化及び、高単価・高品質商品の安定供給による受注拡大に努めました。また、非衣料分野の受注拡大に伴う売上単価の減少に対応するため、各生産拠点にて原価低減活動及び省エネ対策などを推し進めると共に、設備の増強・更新投資を積極的に行うなど、生産性の向上に攻めの姿勢で取り組みました。

非繊維事業では、今後も成長性が見込まれる保育サービス事業の拡大や、新規事業として洗濯事業の本格稼働と更なる拡張へ向け、事業拡大に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、保育サービス事業や洗濯事業を含む、その他事業では増収となったものの、国内繊維事業では収益性を重視した販売体制への過渡期でもあり、10,905百万円（前年同期比4.4%減、507百万円減）となりました。

利益面では、縫製品販売事業、倉庫事業において利益の増加を図ったものの、国内ファッション衣料の不振による影響で、国内染色加工事業が減益となり、営業利益637百万円（前年同期比14.6%減、108百万円減）、経常利益669百万円（前年同期比14.2%減、110百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益286百万円（前年同期比38.1%減、175百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は8,578百万円（前年同期比2.7%減、235百万円減）となり、営業利益は545百万円（前年同期比21.1%減、145百万円減）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

国内では、ユニフォーム等を中心に積極的な受注拡大に取り組みましたが、低迷するカジュアル婦人衣料の販売不振による影響は大きく、編物分野を中心に加工料部門は減収となりました。一方、海外では、インドネシア子会社にて需要旺盛なローカル市場向け受注の拡大により増収となり、加工料部門全体の売上高は6,996百万円（前年同期比0.0%減、1百万円減）となりました。

（テキスタイル販売部門）

国内は既存顧客との取組強化や新規顧客の開拓を進め、ユニフォームや資材向け用途の他に、イベント関連や雑貨小物など販売強化に努めましたが、衣料用途向け販売が落ち込み、海外では、インドネシア子会社において、委託加工での受注拡大により、縫製品販売事業向け加工スペース確保が難しく減収となり、テキスタイル販売部門の売上高は1,581百万円（前年同期比12.9%減、234百万円減）となりました。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシア一貫生産体制による製品販売に注力すると共に、売上重視から採算重視の販売方針の転換を図り、売上高は455百万円（前年同期比58.7%減、648百万円減）の減収となりました。加えて物流コスト等の経費圧縮により、営業利益12百万円（前年同期は営業損失36百万円）となり、黒字化しております。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、病院・企業内の保育所数を順調に拡大し、売上高1,756百万円（前年同期比13.7%増、211百万円増）と増収になりました。しかしながら、保育士の待遇改善及び業容拡大を見据えた採用活動による経費が膨らんだことにより、営業利益10百万円（前年同期比33.1%減、5百万円減）となりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴う荷役取扱量減少の影響を受け、売上高190百万円（前年同期比3.0%減、5百万円減）と減収となりましたが、各事業拠点間のトラック便の内製化等により経費圧縮を図り、営業利益6百万円（前年同期比98.9%増、3百万円増）の増益となりました。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、不動産賃貸事業等に加え、当期より事業を開始した洗濯事業が含まれており、売上高は190百万円（前年同期比17.2%増、27百万円増）の増収となりましたが、効率的な業務運営を行うための整備・運用費用が発生したことで、営業利益は62百万円（前年同期比14.2%減、10百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、15,149百万円（前連結会計年度末比1.9%増、279百万円増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少462百万円、建物及び構築物の増加144百万円、機械装置及び車両運搬具の増加131百万円、投資有価証券の増加494百万円等によるものです。

負債は、7,106百万円（前連結会計年度末比3.9%減、290百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少59百万円、短期借入金の返済による減少395百万円、長期借入金の借入による増加172百万円等によるものです。

純資産は、8,043百万円（前連結会計年度末比7.6%増、569百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加286百万円、配当金支払による減少150百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加350百万円、為替換算調整勘定の減少9百万円、非支配株主持分の増加82百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、平成29年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,081	1,991,068
受取手形及び売掛金	3,703,012	3,240,632
商品及び製品	147,339	198,660
仕掛品	339,102	366,952
原材料及び貯蔵品	377,522	350,614
繰延税金資産	79,160	38,150
その他	160,882	179,677
貸倒引当金	△82,626	△80,946
流動資産合計	6,752,476	6,284,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,336,508	1,481,273
機械装置及び運搬具(純額)	1,781,297	1,912,435
土地	1,790,244	1,792,311
建設仮勘定	218,004	79,504
その他(純額)	328,406	414,862
有形固定資産合計	5,454,462	5,680,388
無形固定資産		
その他	43,007	67,492
無形固定資産合計	43,007	67,492
投資その他の資産		
投資有価証券	2,175,905	2,670,594
繰延税金資産	31,690	33,447
その他	417,728	416,703
貸倒引当金	△5,144	△4,158
投資その他の資産合計	2,620,180	3,116,587
固定資産合計	8,117,649	8,864,468
資産合計	14,870,126	15,149,279

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,675	1,762,828
短期借入金	1,210,573	815,000
未払法人税等	91,998	43,179
賞与引当金	178,300	87,207
その他	1,189,109	1,212,209
流動負債合計	4,492,656	3,920,425
固定負債		
長期借入金	902,500	1,075,000
役員退職慰労引当金	17,032	19,321
退職給付に係る負債	1,213,851	1,183,370
資産除去債務	41,068	41,766
その他	729,868	866,273
固定負債合計	2,904,321	3,185,731
負債合計	7,396,978	7,106,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,949,458	2,085,770
自己株式	△495,008	△496,436
株主資本合計	7,154,570	7,289,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554,974	905,825
為替換算調整勘定	△805,838	△815,358
退職給付に係る調整累計額	△108,541	△97,022
その他の包括利益累計額合計	△359,405	△6,555
非支配株主持分	677,983	760,222
純資産合計	7,473,148	8,043,122
負債純資産合計	14,870,126	15,149,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,413,064	10,905,274
売上原価	9,398,716	8,942,843
売上総利益	2,014,348	1,962,430
販売費及び一般管理費	1,268,044	1,324,813
営業利益	746,303	637,617
営業外収益		
受取利息	1,328	3,387
受取配当金	52,027	48,757
受取保険金	31,569	—
為替差益	—	5,871
雑収入	23,147	14,021
営業外収益合計	108,073	72,037
営業外費用		
支払利息	17,483	12,629
為替差損	11,119	—
支払手数料	9,286	9,826
雑支出	35,974	17,445
営業外費用合計	73,863	39,901
経常利益	780,513	669,754
特別利益		
国庫補助金	36,557	—
特別利益合計	36,557	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	10,860
固定資産圧縮損	36,557	—
特別損失合計	36,557	10,860
税金等調整前四半期純利益	780,513	658,893
法人税、住民税及び事業税	140,199	153,494
法人税等調整額	32,552	56,262
法人税等合計	172,751	209,757
四半期純利益	607,761	449,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	145,315	162,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,445	286,482

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	607,761	449,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179,447	350,851
為替換算調整勘定	△179,479	△31,133
退職給付に係る調整額	4,809	5,890
その他の包括利益合計	4,777	325,608
四半期包括利益	612,539	774,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	535,378	655,029
非支配株主に係る四半期包括利益	77,161	119,714

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,813,923	921,600	1,544,652	9,868	11,290,046	123,018	11,413,064	—	11,413,064
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333	182,384	—	186,369	369,087	39,353	408,440	△408,440	—
計	8,814,256	1,103,985	1,544,652	196,238	11,659,133	162,371	11,821,505	△408,440	11,413,064
セグメント利益又 は損失(△)	691,351	△36,623	15,216	3,201	673,146	72,887	746,033	270	746,303

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額270千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,578,826	433,942	1,756,033	8,726	10,777,528	127,746	10,905,274	—	10,905,274
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	131	21,686	—	181,593	203,411	62,546	265,957	△265,957	—
計	8,578,957	455,628	1,756,033	190,319	10,980,939	190,292	11,171,232	△265,957	10,905,274
セグメント利益	545,650	12,597	10,176	6,369	574,794	62,553	637,347	270	637,617

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業、洗濯事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額270千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。